

教育コンサルタント | 経営計画へ伴走

教育を通して、経営を学び、
常に新しいことに
挑戦し続ける。

文園侑希 | 教育事業部マネージャー



お客様の人生で大切な喜びの場面に数多く出会う

教育事業（学習塾事業）の最大の魅力は、お客様の人生で大切な喜びの場面に数多く出会うことができることだと感じています。受験に合格をした時、成績が上がったとき、様々な場面で、『ありがとう』を頂くことをやりがいにつなげられる。どうすれば、より多くの感謝の言葉を頂くことができるのか？なんとなく…の感覚ではなく、戦略的に考えていく。その中で、校舎の成長・生徒の成長を通じて、自分自身が経営的視点、管理者の視点など、様々な力をトータル的に育むことができる。日々成長を感じながら仕事をする事ができる。

中学生・高校生時代、授業を受けていてくれた子供が、今度は教える側・仕事のパートナーとなり、校舎に携わってくれる。勉強が嫌いだった子供が前向きに、勉強に挑むようになってくれる。

A Iの発達やセンター試験の廃止、年々転換していく学校教育の中で、いま、学習塾教育に求められていることは、何なのか？日々考え、行動していくことで、新たな顧客の創造をすることでやりがいや、楽しさを感じることができると考えています。



子供たちから学ぶ 一教育とは共育一

「人間万事塞翁が馬」

実は社長が好きな言葉です。人生における幸不幸は予測しがたいということ。幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるかわからないのだから、安易に喜んだり悲しんだりするべきではないというたとえだそうです。

私たちは子供達の第一志望校合格を叶えるべく仕事をしていますが、今まで全員の第一志望合格を叶えてきたわけではありません。力及ばず第一志望合格が叶わなかった子もいます。この仕事をやっていて一番辛い瞬間です。

私も生徒も落ち込みますが、落ち込んでばかりはいられません。生徒を励まして、次の目標に向かうよう指導しなければなりません。その時に、この言葉を伝えています。

辛いことは辛いことばかりとは限りません。辛いことがあるからこそ、このままじゃだめだと気付けることがあると思います。実際に、ある生徒は第一志望が合格できず、第二志望の高校へ行きました。当初は、落ち込んでいましたが、落ちたからこそ、もっと努力をしないと夢は叶わないということを知りました。中学生の時は公立中学校の平均点も届かなかったのですが、高校に入って90点台の成績が当たり前の生徒になりました。「あの時に先生にこの言葉を教えてもらって、頑張ろう！って勇気がでた。」と言ってました。塾としては第一志望が叶わなかったので、手放しに喜べませんが、生徒のターニングポイントになるお手伝いできたのかなと思っています。私たちの指導で子供達が大きく成長する。このような経験ができるのが教育という仕事の魅力だと思います。そして、子供の成長に私も励まされ、辛い時にもこれはチャンスになるかもしれない！だから頑張ろう！と思えるようになりました。私も子供達から学ばせてもらっています。教育とは子供達も私達も共に育つことなのだろうなと思います。



東和商事株式会社 <http://towa-syouji.com>

〒601-8213 京都市南区久世中久世町4-2-5

TEL 075-934-7300